

予算常任委員会総務分科会

(令和3年4月30日)

○ 荻須智之委員長

おはようございます。

それでは、総務常任委員会を開会いたしますので、インターネット中継を開始してください。

まず、分科会長報告の作成に当たりまして、質疑の中で重要な部分を中心に記載していきたいと考えておりますので、その目安とするため、委員の皆様におかれましては、可能な限り、報告書に記載してほしい部分は、その旨を質疑の最後に付け加えていただきたいと思っております。時間的に余裕がございませんので、よろしくお願いいたします。

それでは、これより財政経営部に係る議案の審査に入ります。

まず、部長よりご挨拶をいただきます。

○ 荒木財政経営部長

財政経営部、荒木でございます。

皆さん、改めまして、おはようございます。

本日につきましては、補正予算の第2号ということで、歳入の部分についてご審議賜ります。どうぞよろしくお願いいたします。

○ 荻須智之委員長

ありがとうございます。

議案第135号 令和3年度四日市市一般会計補正予算（第2号）について

第1条 歳入歳出予算の補正

歳入全般

○ 荻須智之委員長

それでは、議案第135号令和3年度四日市市一般会計補正予算（第2号）のうち、歳入全般についてを議題といたします。

本件について、資料の説明を求めます。

○ 廣田財政課長

財政課長の廣田です。資料の説明をさせていただきます。

資料のデータの場所なんですけれども、フォルダー11、4月閉会議会の中の04総務常任委員会、その中の105番、令和3年度4月補正予算（第2号）案の概要で説明をさせていただきます。

概要の2ページをお開きください。

○ 萩須智之委員長

よろしいでしょうか。

どうぞ。

○ 廣田財政課長

概要2ページの上の2、一般会計についてでございます。

上半分が歳入、下半分が歳出となっております。

歳入の関係部分でございますけれども、款20、繰入金の財政調整基金繰入金2590万円を計上しております。

これにつきましては、下半分、ちょうど歳出に国予備費と黒いマークがついておる、国の分とは違うほうの四日市市の特別給付金、市単部分の2590万円と対応する形で財政調整基金繰入金を計上させていただいて、収支の均衡を図っております。

この財政調整基金の取崩しを行った結果、その2ページの一番下の財政調整基金の推移の表でございますが、2590万円、今回これを取り崩しまして、残高の見込みでございますが、111億482万円になる見込みでございます。

説明は以上でございます。

○ 萩須智之委員長

説明はお聞き及びのとおりです。

これより質疑に入ります。

ご質疑等がありましたら、挙手にてご発言願います。

よろしいですか。

○ 樋口博己委員

すみません。報告書には書かなくていいです。結構です。確認だけです。

事務費90万円というのは、四日市がやるのは、これで4回目だと思うんですけど、これは今までの事務費と別で、やっぱりかかるものなんですか。具体的にどんなことが別でかかるんですか。

○ 廣田財政課長

具体的には、銀行の口座振込手数料でありますとか、振込の通知の郵送料がほぼ主立った経費になります。

以上です。

○ 荻須智之委員長

樋口委員、よろしいですか。

○ 森川 慎委員

私のも書かなくていいので、確認なんですけど、国からも事務費で1600万円を出ているんですけど、これも今の経費という感じなんですか。経費という感じというのもなんやけど、国からのその事務費の使い道というか。お願いします。

○ 廣田財政課長

国の給付金のほうも、同じように郵送料であるとか、振込手数料はかかるんですが、それ以外にちょっとシステム改修にかかる部分について、この中から使わせていただく予定でございます。

○ 荻須智之委員長

システムを改修される必要があるということですね。

○ 森川 慎委員

四日市市の何かそういうシステムを改修する必要があるということですか。

○ 廣田財政課長

個人に支払ったという記録を、データとして消し込むというか、記録する必要がございますので、誰々さんの何月分の給付ということで、幾ら振り込んだというのを記録するデータの項目の箱をちょっと増やしていただく必要があるということを聞いております。

以上です。

○ 森川 慎委員

分かりました。

○ 荻須智之委員長

よろしいですか。

○ 豊田政典委員

私も知っておきたいので確認するだけなんですけど、その国の事務費の中には、市役所職員の人件費のようなものは全く含まれていないんですか。

○ 廣田財政課長

補助対象経費としては、時間外手当であるとか、パートタイムの職員の費用とかは認められることになっておるので、もしかかればその分については実績報告で支払いを求めていくことになるんですけども、正職員の本給の部分、普通の平日の勤務部分については、こういう事務費としては認められないことになっております。

以上です。

○ 荻須智之委員長

豊田委員、よろしいですか。

ほかはいかがでしょうか。

○ 樋口博己委員

何度もすみません。これも参考なので、記載しなくて結構です。

今回、独り親のみが先行していますけど、2人親の件が何か情報があったら、ちょっと教えていただきたいと思います。

○ 廣田財政課長

ちょうど4月27日の夕方に、国のほうのオンラインの説明会が開かれまして、そこで出てきた情報につきましては、非課税世帯を中心に、申請せずとも、6月の所得証明が出る段階で、そのデータでもって判定して、申請不要で、できるだけ早く振り込むという、議会運営委員会のとときにちょっと軽くご説明させていただいた内容、ほぼその内容で情報が入ってきております。できるだけ6月補正で間に合わせるような形で今検討しておるところです。

以上です。

○ 荻須智之委員長

よろしいですか。

ほかはいかがでしょうか。

○ 森川 慎委員

事務費のくだりって、簡単にやっぱり報告しておいてもらったほうがええような気がしてきたんですけど、必要ないですかね。全部書く必要はないんですけど、こういうお金やぐらいは、ちょっと説明しておいてもらったほうがいいかなと思いました。お任せしますけど。

○ 荻須智之委員長

はい、承りました。

それは報告させていただくことに。

○ 廣田財政課長

事業費と事務費につきましては、歳出の予算になりますので、ちょっと、教育民生分科会のほうでご審議いただいておりますかなとは思いますが、あくまで総務分科会の所管としては、財政調整基金繰入金の2590万円についてご審議いただくことになるかなと思いま

す。

○ 荻須智之委員長

じゃ、これはちょっと触らないことにさせていただきます。

○ 豊田政典委員

いや、歳入に国からの交付金というのが入っておるやろう。その計算根拠と関係するもので、総務分科会で議論すべきじゃないの。

○ 廣田財政課長

対応する金額の歳出と連動する部分については、このようにできるだけご説明させていただきますけれども、ちょっと報告として残すべきかどうかについては、教育民生分科会との所管の範囲に応じて、ご判断なさるべきかなとは思いますが。

以上です。

○ 豊田政典委員

だから、国からこれだけ事務費が来るよという、メニューがあって、その内容について、詳細について質疑があったので、歳入部分ですよ、当然。これが入っているのか入っていないのかという議論じゃないですか。

残すとすれば、総務分科会で報告すべきだと私は思いますけど。

○ 荻須智之委員長

総務分科会で報告すべきということですね。

これはどうなるんだろう、事務局。

○ 山路議会事務局次長兼議事課長

歳入部分ですので、それで一言でもいいかなと思います。

○ 荻須智之委員長

歳入ですから。

豊田委員のおっしゃるとおりということですね。

そうしました。じゃ、書かせていただきますでしょうかね。

簡潔にということで。

皆さん、そういうことをご同意いただけますでしょうか。

(異議なし)

○ 荻須智之委員長

じゃ、簡潔にさせていただきます。ありがとうございます。

ほかはいかがでしょうか。

(なし)

○ 荻須智之委員長

ありがとうございます。

それでは、ご質疑もないようですので、討論に入ります。

討論がありましたらご発言願います。

(なし)

○ 荻須智之委員長

討論もないようですので、分科会としての採決を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

なお、全体会へ送るか否かは採決の後にお諮りします。

よろしいでしょうか。

(異議なし)

○ 荻須智之委員長

では、異議なしと認め、原則どおり採決を行いたいと思います。

反対表明がございませんでしたので、簡易採決とさせていただきます。

議案第135号令和3年度四日市市一般会計補正予算（第2号）、第1条歳入歳出予算の補正、歳入全般については、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

（異議なし）

○ 萩須智之委員長

ご異議なしと認め、本件は可決すべきものと決しました。

続いて、全体会へ送るべきとする事項の確認を行います。いかがでしょうか。

（なし）

○ 萩須智之委員長

なしの声をいただきましたので、全体会送りはなしとさせていただきます。

[以上の経過により、議案第135号 令和3年度四日市市一般会計補正予算（第2号）、第1条歳入歳出予算の補正、歳入全般について、採決の結果、別段異議なく可決すべきものと決する。]

○ 萩須智之委員長

分科会長報告につきましては、正副分科会長に一任していただくということによろしいでしょうか。

（異議なし）

○ 萩須智之委員長

ありがとうございます。

それでは、以上で審査が終了しましたので、総務分科会を閉じさせていただきます。お疲れさまでした。ありがとうございました。

(発言する者あり)

○ 荻須智之委員長

挨拶。終わりということですか。

そういうことですね。

各自、印象を言っていただきますか。私からですか。

すみません、機会をいただきましたので。

理事者、退出していただきます。ありがとうございます。ネット中継も終わらせていただきます。

最後ですね。ありがとうございます。

すみません、2年間お世話になりました。

総務常任委員会は初めての経験で、いきなり委員長を仰せつかりまして、しかも2年任期ということで、この2年間の試みで見えてきたものもあると思いますので、よかったなとは思っております。

特に2年間で、今後、視察の計画等を立てていくのには、早めに段取りが取れるというところがいいかなと思いましたが、あいにくコロナということでございましたが、危機管理室を所管している中では、非常に理事者のほうも頑張っていたと思います。まだこれからが正念場という感じがしますが。

当初、議長、副議長いらっしゃいますが、もしお体を害された場合に、本会議等となると、総務常任委員長が議長をやるのやというのを知らずになってしましまして、えらいこっちゃと思っていましたが、そういうことにもならず終えることができました。本当にありがたいと思います。

それと、非常に活発に議論していただきましたので、内容の濃い委員会が運営できたと思います。本当に皆様には感謝申し上げます。ありがとうございます。

副委員長、どうぞ。

○ 豊田祥司副委員長

2年間という長い間でしたけれども、皆さんのおかげで無事終わることができました。

また、これからも別の委員会で会うかもしれませんけれども、よろしく願いいたします。ありがとうございます。

○ 荻須智之委員長

では、これで委員会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

10 : 23 閉議